

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 09325413
PUBLICATION DATE : 16-12-97

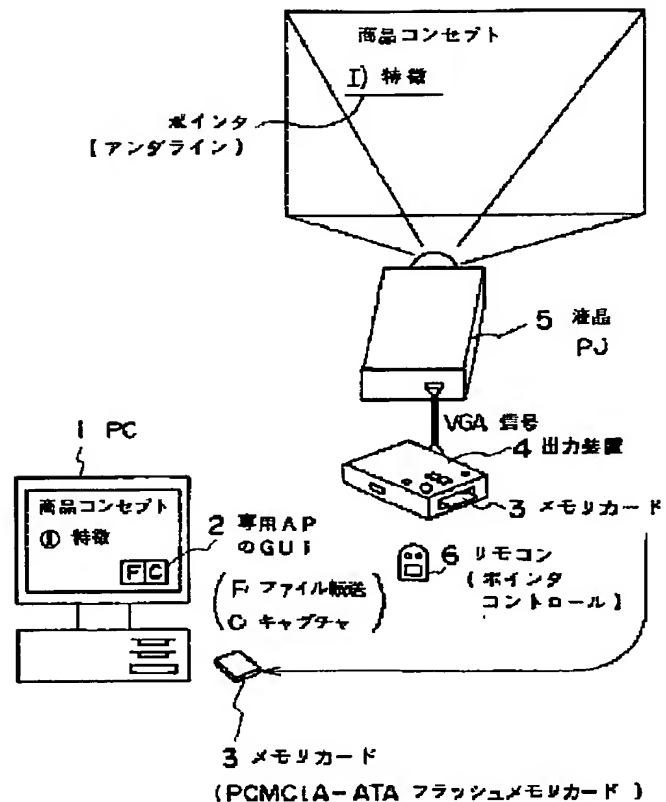
APPLICATION DATE : 07-06-96
APPLICATION NUMBER : 08145481

APPLICANT : NEC CORP;

INVENTOR : TAGISHI KOICHI;

INT.CL. : G03B 21/00 H04N 5/76 H04N 5/907

TITLE : IMAGE DISPLAY METHOD AND
SYSTEM WITH MEMORY CARD



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To allow a quick start via the insertion of a memory card by controlling the presentation data with a dedicated application and an output device in the unified file style.

SOLUTION: A dedicated application 2 is installed on a PC 1, and the graphical user interface GUI is displayed when it is built up. The presentation data are displayed in this state. A capture C button on the GUI is clicked, then the presently displayed data are converted into the universal image data. All the screens used for presentation are converted at this time. An optional pointer is set on each screen at the time of capture, the set screen for shape, size, and color is displayed, and a user makes selection on the screen. The generated data are transferred to a memory card 3. The memory card 3 storing the data is fitted to an output device 4.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-325413

(43) 公開日 平成9年(1997)12月16日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 3 B 21/00			G 0 3 B 21/00	D
H 0 4 N 5/76			H 0 4 N 5/76	Z
5/907			5/907	B

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-145481

(22) 出願日 平成8年(1996)6月7日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 田岸 孝一

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

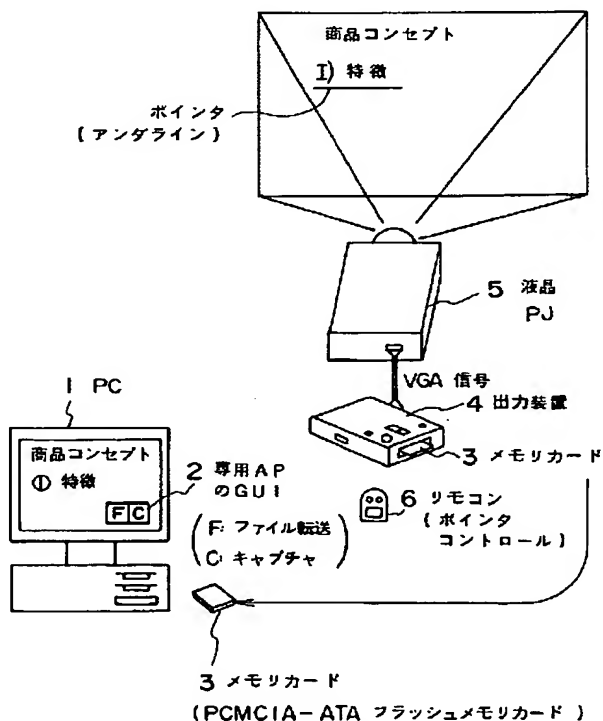
(74) 代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54) 【発明の名称】 メモリカードを用いた画像表示方法及びシステム

(57) 【要約】

【課題】 PCとの接続においてそれぞれにあった変換インターフェイスを備える必要がなく、かつ直にプレゼンテーション開始ができ、更にプレゼンテーション画面それぞれに効果的に任意のポインタが出力できる画像表示システムを提供する。

【解決手段】 PC 1 上の任意のプレゼンテーション用アプリケーションで作成したデータをキャプチャし、汎用の画像ファイルに変換し、それをメモリカード 3 に格納することができる専用アプリケーション 2 と、そのメモリカード内データを再生出力する出力機器 4 を含む。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示用画像データをこの画像データの表示制御データとともにメモリカードに格納するステップと、メモリカードにある画像データを表示制御データに基づき画像信号に交換して出力するステップとからなるメモリカードを用いた画像表示方法。

【請求項2】 プレゼンテーション用アプリケーションで表示用画像データを作成するステップと、表示制御データ用アプリケーションで表示制御データを作成するステップと、表示用画像データ及び表示制御データをフラッシュメモリカードに格納するステップと、フラッシュメモリカードにある表示用画像データと表示制御データに基づき表示用画像信号を形成するステップとからなるメモリカードを用いた画像表示方法。

【請求項3】 表示制御データとしてポインタの形状、大きさ、色の情報があり、表示の際のポインタの形状、大きさ、色を設定するステップを含む請求項1または2のメモリカードを用いた画像表示方法。

【請求項4】 プレゼンテーション用アプリケーションが格納され表示用画像データを作成し、表示制御データとともにメモリカードにこの表示用画像データを記憶させるパーソナルコンピュータと、メモリカードを受入れ表示制御データに基づき表示用画像データから画像信号を形成する画像信号出力装置とを含むメモリカードを用いた画像表示システム。

【請求項5】 表示制御データとしてポインタの形状、大きさ、色の情報があり、表示の際にこれらの情報を選択するポインタコントローラを含む請求項4のメモリカードを用いた画像表示システム。

【請求項6】 プレゼンテーション用アプリケーションで作成したプレゼンテーションデータをキャプチャし、フラッシュメモリを利用したメモリカードに格納する専用アプリケーションと、メモリカード内データを出力する出力装置とを含み、メモリカードをこの出力装置に挿入すると、プレゼンテーションデータの一枚目が直ちに出力することを特徴とするメモリカードを用いた画像表示システム。

【請求項7】 専用アプリケーションでプレゼンテーションデータ一枚一枚に対して任意の形状、大きさ、色のポインタを設定でき、この出力装置でデータ再生時、そのポインタをポインタコントロールで操作することを経特徴とする請求項6のメモリカードを用いた画像表示システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 この発明は、メモリカードを用いた画像表示方法及びシステムに関する。

【0002】

【従来技術】 プレゼンテーション用データに動画を含む情報がある場合、それら情報の入出力や編集を容易にし

た画像記録再生システムは従来技術として存在する。これはさらにデータ媒体として着脱交換可能なカード状のものも想定していて、接続されるパーソナルコンピュータ等の情報処理装置の機種に応じたインターフェイスも設けている。例えば特開平4-81739号公報（画像記録再生システム）がそれである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来技術の第一の問題点は、各種情報機器に対応したインターフェイスを設ける必要がある事である。様々な情報機器が氾濫している現在、全てにあったインターフェイスを用意するのは困難であり、かつ開発する方も混乱する。

【0004】 第二の問題点は、プレゼンテーション時、画面に適したポインタが出力されない事である。全ての画面に共通したポインタ（例えば矢印等）は出力可能だが、各画面ごとに任意のポインタは設定できない。

【0005】 この発明の目的は、標準インターフェイスとしてメモリカードと標準画像ファイル（JPEG、BMP等）を用い、このメモリカードを装着時ただちにプレゼンテーションを開始でき、更に、効果的プレゼンテーションの為、各画面にユーザーが任意のポインタを設定できるメモリカードを用いた画像表示方法及びシステムを提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明によれば、メモリカードとしてPCMCIA-ATAフラッシュメモリカードを媒体とし、プレゼンテーション用アプリケーションで作成したデータをキャプチャーし（取り込み）、メモリカードに格納する専用アプリケーションを用いるとともに、このメモリカード内データを受けて画像信号を出力する装置を用いるメモリカードを用いた画像表示方法及びシステムが得られる。

【0007】 本発明によれば、プレゼンテーションデータ等を予めメモリカードに格納しておき、それをこの出力装置に挿入するだけで一枚目のデータがただちに出力（クイックスタート）し、かつ専用アプリケーションでプレゼンテーションデータ1枚1枚に任意の形状、大きさ、色のポインタを設定でき、この出力装置で、データ再生時そのポインタをリモコンでコントロールすることができる。

【0008】

【発明の実施の形態】 この発明に係るシステムの発明の実施の形態を図1に示す。図で、パーソナルコンピュータ（PC）1はプレゼンテーション用アプリケーションで作成したデータをキャプチャし、汎用画像フォーマット（JPEG、BMP等）に変換する専用アプリケーション2をもち、そのデータをメモリカード3に格納する。出力装置4はそのメモリカード内データを再生出力するもので、データ再生時、メモリカード内データをアナログRGB信号やビデオ信号にして出力し、液晶PJ

またはTV5等により表示する。

【0009】次に動作を説明する。まず、PC1で作成されたプレゼンテーションデータをメモリカード3に格納する部分を説明する。PC1にはメモリカードインターフェイスが標準装備されている機種（例えばノートPC等）と非標準な機種（デスクトップPC等）があるが、非標準のPCもPCカードドライブを装着可能な為、以下の本発明の中ではPC1から書き込み等ができるものとして説明する。

【0010】PC1上には、図にあるように本装置用の専用アプリケーション2がインストールされ、立ちあげるとGUI（グラフィカルユーザーインターフェイス）が表示される。このGUIは必ず最上位に表示されるようになっている。この状態で、プレゼンテーション用データ（例えばパワーポイント等、PC1に表示できるもの全て）を表示させる。そして、GUI上のC（キャプチャ）ボタンをクリックする。すると現在表示されているデータが汎用画像データ（BMPやJPEG等）に変換される。このようにして、プレゼンテーションで使用する画面全てを変換する。さらにキャプチャ時、各画面、画面に任意のポインタを設定する為、形状、大きさ、色等の設定画面が表示され、ユーザーはその画面上で選択する。次にGUI上のF（ファイル転送）ボタンをクリックする。すると上記作成したデータがメモリカード3に転送される。この専用アプリケーション2の機能として、キャプチャとファイル転送のみを述べたが、もちろん編集機能（ファイル追加、削除、入れ替え、拡大、縮小等）が付帯してもかまわない。

【0011】次に、このようにしてデータを格納したメモリカード3を出力装置4に装着する。この出力装置4は汎用画像ファイル（JPEG、BMP等）を再生出力する装置であるため、メモリカード3装着時、これらのファイルを探しに行く。よって専用アプリケーション2で作成されたデータはただちに再生されることになる。また、各画面に属性データとして付いているポインタデータ等も仕様を統一する事で、生成され、備えつけのリモコン6により移動が可能となる。例えば図の液晶PJ5の出力のように、文字の場合はアンダーライン等その

画像にあったポインタが出力される。

【0012】以上、本発明では汎用のインターフェイス（メモリカード）で、汎用画像ファイル（JPEG、BMP等）を扱うため、PC1の機種が異なっても様々な変換インターフェイスを用意する必要がなく、複雑性がない。

【0013】出力装置4は汎用画像ファイル（JPEG、BMP等）を再生できる為、たとえばデジタルカメラ等の撮像装置で撮ったデータ形式がJPEG等で、記憶媒体がメモリカードの場合、撮ったその場でこのメモリカードを抜き、この出力装置14に挿入するだけで、再生出力が可能となる。

【0014】

【発明の効果】以上、本発明の第一の効果は、プレゼンテーションデータを専用アプリケーションと出力装置で、統一したファイル形式で管理する為、メモリカード挿入で、クイックスタートできることである。プレゼンテーション開始時、通常のPCの場合はアプリケーションを立ちあげる必要があり、プレゼンタが変わる度に説明開始までに時間がかかるが、本発明の出力本装置の場合はただちに開始できる。

【0015】第二の効果は、プレゼンテーションデータ一枚一枚にプレゼンタが設定した形状、大きさ、色のポインタを出力する事ができ、その内容にあったポインタを表示する事で、効果的なプレゼンテーションが可能になる。またこのポインタのファイル形式をBMPにすれば、ペイントブラシ等汎用アプリケーションで作成した任意のポインタを設定、表示する事も可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るシステムの一実施の形態を示す図。

【符号の説明】

- 1 パーソナルコンピュータ
- 2 専用アプリケーションの操作GUI
- 3 PCカード
- 4 出力装置
- 5 液晶PJ
- 6 リモコン

【図1】

